

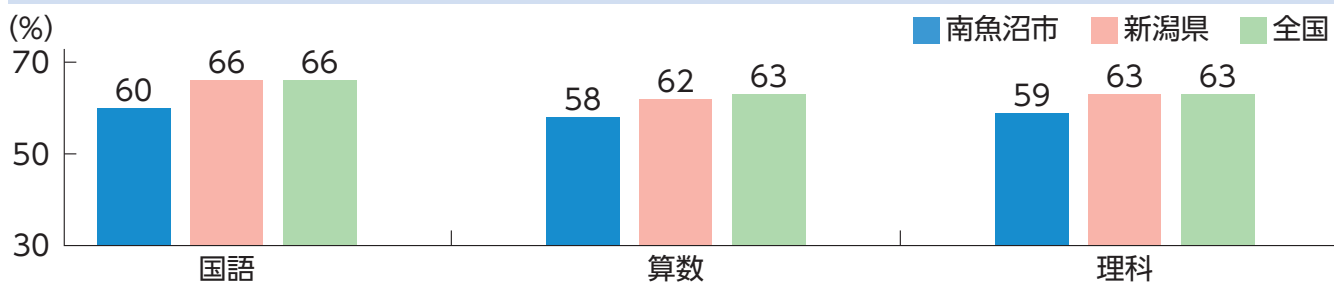
# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

【問合せ】学校教育課 ☎773・6700

4月19日(火)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、理科の3教科で全国学力・学習状況調査が実施されました。全国・県と比較した南魚沼市の平均正答率と、学習状況などに関する意識調査結果について概要をお知らせします。

## 1 全国・県の平均正答率との比較

### 小学6年生の平均正答率



#### 国語：下回りました。

根拠と理由を明らかにして自分の考えを表現することが苦手な傾向があります。

「聞く力・話す力」は社会生活の基本的な力です。学校では聞くこと、話すことに重点を置いて学習活動を進めていますが、家庭でも意識してコミュニケーションをとることが大切です。

#### 算数：下回りました。

「割合の応用」や「統計の活用」、「プログラミング的思考」などで、これまで学んだ知識を活用し、筋道を立てて考察・表現することが苦手な傾向があります。

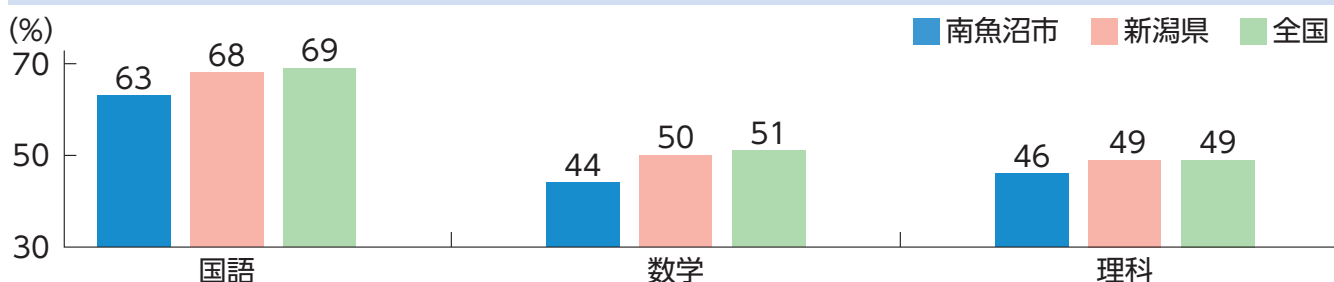
「基礎・基本の定着」と、「考えを積極的に表現すること」に重点を置いた学習をすることが大切です。

#### 理科：下回りました。

実験器具の名称や扱い方・用語などが定着している一方で、グラフを読み取り考察することや、実験結果を基に根拠を書くことなどが苦手な傾向があります。

提示された情報を「複数の視点で分析・解釈して、自分の考えをもつこと」が大切です。

### 中学3年生の平均正答率



#### 国語：下回りました。

自分の考えを、根拠と理由を明らかにして表現することが苦手な傾向があります。

語彙力を高め、場面に応じて自分の考えを表現できるように、学校や家庭で社会生活を意識したコミュニケーションを心がけることが大切です。

#### 数学：下回りました。

「数と式」や「確率」などで関係を考えることや筋道を立てて説明することが苦手な傾向があります。

学校や家庭での学習で「基礎・基本の確実な理解と定着」を図るとともに、「考える力・説明する力」を一層伸ばすことが大切です。

#### 理科：下回りました。

「生活環境」や「生き物の形態」、日常生活と関連付けて理解することなどは全国平均を上回る一方で、基礎的な内容や実験計画の妥当性の検討・改善などが苦手な傾向があります。基礎的な内容の理解と、自分の課題を設定し追究する総合学習・自由研究的な学習が大切です。